

第15回多摩市自治推進委員会 要点記録

平成27年2月19日(木) 18:30~20:30

多摩市役所3階 特別会議室

出席者：安藤委員長、松本副委員長、川添委員、小嶋委員、横山委員、田中委員

事務局：企画政策部長、企画課長、企画課主査、企画課主事

審議：報告書に関する検討について

□開会

副委員長 前は、主に報告書の構成(案)について議論した。今後、更に議論を重ねて、報告書をより良いものにしていきたい。

今回は、報告書の作成イメージ(案)を確認するとともに、次回以降の検討事例を決定したい。まずは、事務局に説明をお願いする。

事務局 配付資料について事務局から説明を行った。

副委員長 「資料1 報告書の作成イメージ(案)」について、意見等はあるか。

委員 2ページから24ページまでにわたり、まちを知ってイベントに関わるまでの経緯が書かれているが、この報告書の主要部分は事例紹介であることを考えると、少し長いと感じる。

副委員長 確かに、起承転結で考えると、「起」と「承」の部分に、それぞれ13ページ、10ページずつ割いている。「転」の事例紹介がメインであるので、もう少し簡潔にすべきである。

また、この物語を通して、主人公のキャラクターは多摩市のことを知り過ぎていているように感じる。ストーリーとしては、自身に関心がある部分から入って行って、参加してみて初めて気づくといった流れの方が自然ではないか。無理してこれまでの議論の内容を全部載せようとするよりも、特定のシチュエーションで特定の活動をしているうちに、何かに気づいて活動を始めるというストーリーの方が良い。

なお、ストーリーを練り直す際には、この報告書を何のために、誰に向けて作るのかという目的を改めて明確にする必要がある。

委員 ストーリーはあまり漠然とさせず、伝えたいことを明確にした方が良い。

副委員長 例えば、主人公は多摩市生まれ、多摩市育ちという設定であるが、最近多摩市に引っ越してきて、暮らしていく中で、まちづくりに参加していくというストーリーも考えられる。

委員 その際には、主人公だけではなく、主人公の家族を登場させても良いかもしれない。

副委員長 家族を登場させることで、主人公以外の子どもや母親などの目線から語らせることもできるのではないか。

委員 また、市内には、様々なジャンルで、人が多く集まるようなイベントがある。そうしたイベントを掲載すると、より多くの人に関心を引けるのではないか。さらに、市が発行している「地域デビュー手引書」や「市民団体等との協働事例集」なども紹介すべきである。

委員長 取り上げるイベントや事例は多い方が良い。大きく載せられなくても、一口コメントなど

を掲載することで、読み手がこんな関わり方があるんだと気づけるようになる。さらに、「地域デビュー手引書」や「市民団体等との協働事例集」については、巻末に掲載すると良い。

次に、資料2「今後の検討事例（案）」について意見を伺いたい。

副委員長 事例検討にあたっては、取組内容でカテゴリー分けすることもできるが、個人、自治会等の団体、個人事業主等の参加形態で分けることもできる。

委員長 様々な切り口が考えられるが、重要なことは、個人が人と関わったときにどうなるのかを軸として考えることや、ストーリー性を持たせることである。

事例としては、多様な主体とのつながりを生み出しているものが良い。例えば、プレーパークの事例では、日常生活ではあまりつながる機会のない大学生と小学生のつながりを作っている点がポイントである。

委員 市内の公園緑地などにおいても大学連携により、大学生と子ども達の間につながりができていて、充実した活動をしている。

副委員長 資料2「今後の検討事例（案）」の中では、「永どん」は、ゆるキャラによるまちの活性化の事例として面白い。また、「雪かきボランティア」は、身近な地域での自治の事例として面白いのではないかと。

委員 「雪かきボランティア」の仕組みは、市内の自治会などでも参考になると思う。この取り組みを紹介することで、活動が広がる可能性がある。

委員 また、身近で、年代を問わずに誰でも行ける場所として、諏訪商店街の「タマラボ」は面白いと思う。

副委員長 「タマラボ」は、商店会や近隣の幼稚園などとも積極的に関わっているようである。また、近くにお住まいの高齢者が定期的に訪れていると聞いている。コミュニティの拠点として面白いのではないかと。

委員長 インタビューで、近くにお住まいの高齢者が定期的に訪れる理由などが聞けると良い。

副委員長 また、映画「たぬきがいた」も面白い。

委員長 映画は人と人をつなぐ媒体になるので、面白いと思う。

その他の事例として、多摩市の特徴である多摩ニュータウンの集合住宅等における取り組みも掲載できると良い。

委員 市内には、活動を活発に行っている自治会がある。そうした自治会の取り組みを紹介できると良い。

委員 市外の事例では、「武蔵野プレイス」を取り上げたい。多摩市には公共施設は多くあるが、武蔵野プレイスのように、そこに行けば多くの人が集まり、様々なことができるような場所がない。

委員長 確かに、武蔵野プレイスは面白い試みであるが、行政主体の取り組みである。そのため、検討事例としてではなく、巻末に掲載してはどうか。

委員 さらに、巻末の「助成金の情報」と関連して、安全面で活動を保障するボランティア保険などに関する情報も掲載すると良い。

委員長 巻末のイメージとしては、イベント情報では、市内の定例的なイベントを写真で掲載する。突発的なイベントの情報については、そうした情報を知ることができる窓口を紹介する。また、場所については、公共施設だけでなく、たまり場的なカフェの情報などを掲載できると

良い。さらに、助成金の情報や安全面で活動を保障するための保険に関する掲載する。

そして、報告書の一番最後には、本冊子を作成した趣旨や、各委員からのメッセージを掲載する。

それでは、本日の議論はここまでとしたい。事務局には、本日の議論を踏まえて、更に報告書（案）を練っていただきたい。

また、次回以降、事例検討をしていく。次回は、3月12日（木）、次々回は3月16日（月）に開催する。これで第15回委員会を閉会する。

□閉会